



塩沢登山口 丸札取付報告

報告者

8月8日実施の丸札設置作業、諸々の報告をします。

例年だと5月山開き後に実施していた丸札設置作業ですが今年は残雪の影響で実施できずこの時期の設置になってしまいました。

当日は市役所都市計画課から4名、観光課から1名、山の会から5名の合計10名で丸札設置作業をしました。

無事に1番：塩沢登山口から、30番：くろがね小屋まで設置できましたがなんと30番のくろがね小屋前に設置する丸札がデポしていたのが見つからず欠番！持って帰るような人はいないでしょうから風で転がっていったのか・・・

追加作業で屏風岩向かいの鎖場で、こちらも今年の雪でステンレス製鎖が伸びてしまいアンカーも数か所破損、アンカーとの接続金具も変形していたのを観光課に準備してもらった鎖と入替作業を実施しました。

その作業途中で1か所目の現場が終わって2か所目に移動しようとしたときにカモシカと遭遇！お互いに気づかず2mぐらいの距離でビックリ！！

カモシカもビックリすると慌てるの面白く、熊でなくて良かったと一安心。



個人山行報告

くろがね小屋工事始まる

報告者

8月15日奥岳7時40分入山する。今日の目的はアサギマダラに逢うことである。時々強い風でアサギマダラに逢うことができないのは、その時はトレーニングに替える。マイペースで馬車道を登る。多くの登山者に追い越される。

湯樋と八の字の頭の間地点で見ているので、注意して見て行くと3ヒキのアサギマダラと逢うことができた。カメラに収めるため追いかけていると、関心がないのか横目で見て通り過ぎる。カメラに収めることが出来満足である。



登山口で見た、くろがね小屋奥岳事務所を思い出し、小雨が降る中カップなしで小屋へ向かう。小屋10時20分、工事は始め小屋の周りに足場は組まれ解体を待つばかりである。雨も強くなりカップを着て急いでカップラーメンを食し下山する。登り2時間40分、下り1時間40分の山行。

目的は達成し大満足の山行であった。

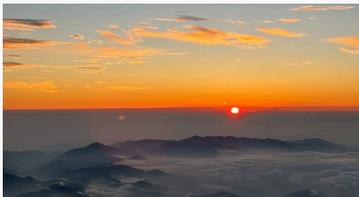




8月山行 富士山報告

8月18日～19日

報告者：



8月18日、19日と2日間にかけて福島交通観光のツアー「一度は登りたい！日本一の山！世界文化遺産『富士山』登山」に参加しました。あだたら山の会からは、

さん、さん、さん、さん、さん、さん、さんの8名の参加であり、ツアーの参加者は、他の参加者も含め合計で21名でした。

5月中旬に富士山の山行が決まってから、約3か月が経ち、山行の日がやってきました。18日、二本松岳下住民センター5時半出発の予定であったが、予定より遅くなり5時40分出発、福島交通郡山支社駐車場に6時15分到着となり、無事、6時20分出発のバスに乗り一安心、途中、那須高原SA、菖蒲PA、談合坂SAでの休憩であり、昼食、山行準備も含めたものであり、登山前の体力としては満タンの状態でした。富士スバルラインを約30分走り続け、ようやく富士山5合目に着きました。レストハウスで休憩を13時30分まで取り、現地ガイドの説明を聞いて14時00分に出発しました。

登るときは、体力を消耗しないように歩幅を小さく歩きました。その上で休憩を多く取っていることからこのペースで山小屋に着く時間が遅くなり、休憩が取れなくなるのではと不安になりました。しかしながら、その不安はすぐになくなり、あまり疲れることなく歩くことができ安心したところでもあります。休憩も長くは取らないのですが切り替えることができ、リズムを一定にし、登ることができました。

15時10分に6合目到着、16時50分に7合目に到着と、地道ではありますが、着実に進んでいることに喜びを感じました。少しずつ暗くなり寒くなったところには今度は寒くなってきたらエネルギーを消費するために歩幅を大きくする歩き方でした。休憩と山行と重ねて18時50分に休憩を取る八合目の太子館山小屋に着いたとき、標高は3,100mであり、高い所まで来た充実感を感じることができました。何より、あだたら山の会の元気そうな感じを見て、率直に凄いと感じました。



19時15分に夕食を食べる時間となり、カレーライス、サバの味噌煮、人形焼等があり、どれも美味しそうでしたが、私は温かい緑茶と人形焼を一緒に真っ先に食べ、幸せを感じることができました。すぐに仮眠をとりましたが、23時40分には集合し出発するため、3時間ほど横になりぐっすり眠ることは難しかったが時間は待ってくれません。参加者はヘッドランプを点け出発し歩き始めました。皆、温かい格好で登り始めていきます。上の方を見ると、大名行列のような感じで歩いており、何時に山頂に着くのかは考える余裕もありませんでした。

25時00分には8合目の元祖室に着き休憩を取りました。ここは何と標高3,250mであり、日本で標高の高さ2番目を誇る北岳の高さを超えたのです。

次頁に続く





8月山行 富士山報告 続き

8月18日～19日

25時45分には8合目の終点であるトモエ館に到着しました。ここでようやく下からヘッドランプをつけた大名行列の集団を見ることができました。結構な距離を歩いたのかなと感じることができました。山頂に辿り着くことを目指し歩いていくことだけを考えながらも寒くなってきました。山頂では温かいものが食べることができるので楽しみの一つとして一歩ずつ歩いていきました。9合目を通過し、ゴールが近づいているのになかなか辿り着かないと長い時間歩き、4時00分に山頂に到着しました。すぐに、私を含め、参加者は豚汁を食べました。体が冷え切っているのに、芯から温まるというのはこういうことなのかなと思いました。ご来光までは時間があるので、景色、御朱印やお守り等いろいろ散策しました。ご来光は何枚も写真に残し、上手に撮れたかは分かりませんが、私にとっても感動するものであり、これほどに綺麗なご来光は人生で初めてであるのは間違いのないと思います。



5時半くらいになり、いよいよ下山が始まります。現地ガイドは、下山は一気に行くとのことと進んでいきました。乳酸がたまりやすくなるからとのことです。確かに8合目くらいまで6時半くらいには下山しました。急に暑さを感じ、山頂の時とは大違いです。下山の時は、ペースは上がっているのに中々ゴールに着かないもどかしさを感じていました。8時間近く歩き続けていること、眠いことが重なり、会話をする余裕は、ありませんでしたが、6合目まで下山したときには、山頂までの景色を眺め、これほどの道を歩いたのだと感じました。9時40分に富士山5合目に到着しました。皆、無事に天候に恵まれた中で登山、下山ができたことは運が良いことなのかと思えます。しかしながら、山は急に天候が変わることも考えられることから、この山行を通して、事前準備の大切さを知ることも改めて理解することもできました。

私にとって、あだたら山の会の仲間と富士山の山行に参加できたことは貴重な経験であり、個人的にも吉田ルート以外も今後、登ってみたいと思いました。



事務局コラム

◆和泉雅子さん死去

七月九日、俳優で冒険家の和泉雅子さんがお亡くなりになった。

一九四七（昭和二二）年生まれ。

一九六六（昭和四一）年九月十九歳の時、

ザ・ベンチャーズの楽曲での「二人の銀座」レコードが大ヒット。

実は小学生の頃から南極越冬隊に憧れていたという。

一九八五（昭和六〇）年五月、北極点到達

初挑戦。気温上昇による海水面に現れた氷の割れ目に阻まれて断念。北極点まで残り一四八キロメートル。

一九八七（昭和六二）年十月九日（金）、

当会が二本松市民会館で、「和泉雅子先生講演会」を開催。当会三〇周年記念行事の一つ、会報一二七号に掲載。創立五〇周年記念誌「稜線」にも講演会の記事写真を掲載。

一九八九（平成元）年五月一〇日、日本人

女性として初めて北極点到達。当時四一歳。

二〇二五（令和七年）九月八日、御逝去で

享年七七歳。五〇周年記念誌「稜線」の写真には、物故会員含め若い顔が並んでいる。

（参照、ウイキペディア）



◆七月二十四日福島民報「みんなの広場」投稿、「町内会の大切さ認識の機会を」。

こん



8月24日

写真①西向き地藏さん

登山道整備報告②

鉄山西向き地藏参拝と 鉄山稜線藪払い

報告者

8月24日 西向地藏参拝と鉄山稜線藪払い班の活動報告

参加者： 〇〇さん、 〇〇さん、
〇〇さん、 〇〇さん、会員外参加の 〇〇さん、
そして 〇〇の6名。



8時に奥岳集合、整備作業に使う道具を準備し、2班に分けて出発。8時50分過ぎにゴンドラに乗り込み、まずは安達太良山頂を目指す。登山道はグループ登山も多く、富士山並みに途中詰まって、足が止まる場面も見られたが、途中2回の水分補給をして10時17分に山頂に到着した。時々吹く気持ち良い風を受けながら小休憩をして、西向地藏へ向かった。

鉄山を超え、避難小屋手前で西向地藏に入る道を探すも、ピンクリボンが見つからない。皆で入り口を数分探し、やっとピンクリボンを発見。11時22分に西向地藏へ到着。

写真②お経



写真③稜線の藪払い作業



大内三郎さんに作成していただいた前掛けと帽子を身に着け（写真①）、 〇〇さんの暖かいお経が始まった。登山者の安全祈願や安達太良山で亡くなられた登山者の成仏を唱える優しいお経に皆で手を合わせた（写真②）。お地藏さまもお喜びの表情に見える。

そのまま、11時45分昼休憩。 〇〇さんからいただくひんやり果物・・・最高に美味しい。腹ごしらえを終えると、またお地藏さまに手を合わせ、本日の藪払い場へ移動。登山道からのわかりにくい西向地藏の入り口は 〇〇さんの声掛けで石を積んで目印）とした。12時24分 鉄山山頂稜線の藪払い作業開始（写真③）各自ハサミと鋸で短時間集中作業。30分程度で作業を終了。

籠山下登山道階段修理現場へ向かう。14時10分合流し階段作業と段差解消の作業に入る。 〇〇さんの作業手際の良さに驚き感動していると、声を掛けていただき、私は初めてつるはしと電動ドライバーを手にした。この年で初めての経験・・・うまくは使えなかったけれど、新しいおもちゃを与えられた子供のようで楽しかった。途中ドライバーのバッテリーがなくなり、板張りは途中で終了し、土嚢で安全確保をして15時に終了。

片づけをして下山。今回の作業は遠くで雷がなったり、小雨に降られたが、大雨にはならず一日蒸し暑い登山道整備になった。皆様お疲れ様でした。



鉄山組出発時

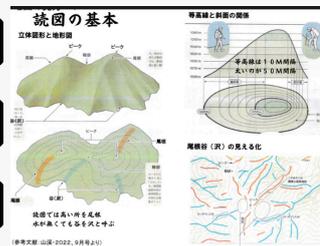
8月の登山教室から

8月の登山教室は読図。

スマホやGPSと地図のいいとこどりで使い分けていくことが大切。

ということで、登山アプリ3種の良さや残念な点について講師独自の長所短所を教えてくださいました。

また、実際の読図では、基本的なことから実際の場面を想定した問題が出されるなど、緊張感を伴いながら印象に残る時間となりました。



読図の基本

- 読図問題を考えてみよう
- 一切読山の地図で想像してみよう
- 入地及の標高は？ どのような地形特徴？



読図問題

読図結果

読図結果